

ファーストペンギン通信

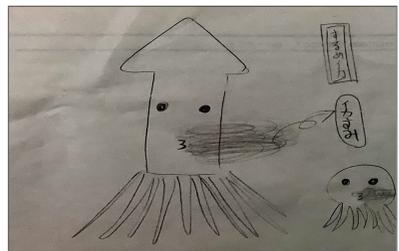
第37号
発行日
令和5年1月16日(月)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敬史



令和4年12月15日(木)生物教室で「イカの解剖探究」を行いました。

解剖と言っても、すぐに切り始めるわけではありません。まず、生徒の皆さんがイカの形をどうとらえているかを確認しました。レポート用紙が配られ、自分の頭の中にあるイカの形を描いていきます。

足は何本、目や口はどこにあるか、頭や腹はどこか、漫画のような可愛いイカが出来上がってきました。



そして、各班のテーブルの解剖台の上に、イカが置かれました。



全体の姿をスケッチしながら、細かなところまでしっかり見ます。目の位置が分かっている人が多かったのですが、口はわからなかったようです。足をかき分けたところにあります。カラストンビです。

色素胞

色が変わる細胞です。基本的にイカは透明なのですが、敵から身を守るため、餌にこっそり

冬季 J-Trial 特集

イカの解剖は「イカ」が？

食べるだけではもったいない

近づくために体表のこの細胞を使って、体色を変えることができます。

目の観察

体の真横についています。体の前後左右を同時に見ることが出来るので、敵や餌を発見しやすいのです。まぶたのついていない目を持つイカとまぶたのないイカがあります。今日はスルメイカでしたので、まぶたがありました。

足の観察

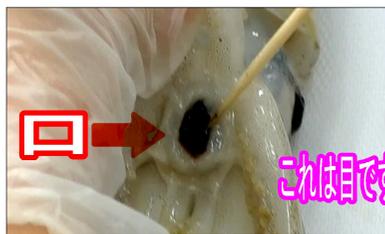
よくタコは8本、イカは10本と言われていますが、イカの足も8本なのです。残りの2本は腕で、触腕と呼ばれています。その手の吸盤には王冠の形をした硬い輪(=クラウン)がついています。



触腕で餌を感知し、口を近づけ食べにいきます。

口の観察

腕の真ん中に口があります。口の中にはカラストンビと言われるクチバシがあります。



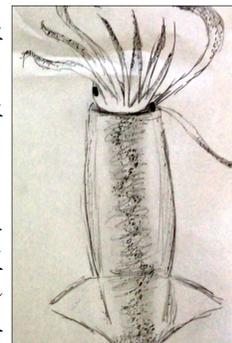
漏斗の観察

口と反対の機能をする所です。排泄物を出したり、墨やジェット噴射の水をはいたりします。イカの胴体に水を流し込むと、ここから噴き出すことも観察できました。



観察後のスケッチ

生物学上正しいスケッチは頭を上位に置きます。つまり足が上方に位置し、三角形のエンペラが下方になります。



みんなの作品を見ました。立体的にスケッチしている人も多く、よく観察できています。最初の想像画と比べてみてください。

解剖開始

手袋を装着し、漏斗が見えるように体を横たえ、目や口のある方から胴体を縦に一直線に切っていきます。ハサミは立てないように動かさないと内臓を傷つけてしまいます。

開ききったら、写真を撮ったり、スケッチします。スケッチの一例は感想欄に載せました。